

大学院全体の「理念・目的」「教育目標」「教学上の3つの方針」

1. 理念・目的

東北学院大学大学院は、キリスト教による人格教育を基礎として、学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥を究めて、広く文化の進展に寄与することを目的とする。

2. 教育目標

東北学院大学大学院は、その理念・目的に示した人材を養成するため、次の事項を達成することを目標とする。

- (1) 幅広い視点と隣人愛を身につける。
- (2) 専攻分野の諸問題に関する幅広い視点及び基礎知識を身につける。
- (3) 専攻分野に関する高度な専門知識を有し、専攻分野の諸問題について理論的、実証的に分析し、その結果を社会貢献に活かす。
- (4) 専攻分野に関する研究課題について、専門知識を活用して課題解決策を提案し、その思考方法と研究成果を公表する。

3. 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

<博士課程前期課程>.....

東北学院大学大学院は、博士課程前期課程において、所定の履修方法に従って必要となる単位数以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえで提出した修士論文又はリサーチペーパーの審査及び最終試験によって、次の学修成果を達成したと認められる者に、「修士」の学位を授与する。

1. 専攻分野の諸問題に関する多角的な視点及び基礎知識を有すること。
2. 専攻分野に関する専門知識及びスキルを有し、専攻分野の諸問題について理論的、実証的に分析できること。
3. 専攻分野に関する研究課題について専門的な知見を有し、課題解決策を提案できること。
4. 専攻分野に関する研究課題について、専門知識を活用して論文又はリサーチペーパーを作成し、その思考方法と研究成果を公表できること。

<修士課程>.....

東北学院大学大学院は、修士課程において、所定の履修方法に従って必要となる単位数以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえで提出した修士論文又はリサーチペーパーの審査及び最終試験によって、次の学修成果を達成したと認められる者に、「修士」の学位を授与する。

1. 専攻分野の諸問題に関する多角的な視点及び基礎知識を有すること。
2. 専攻分野に関する専門知識及びスキルを有し、専攻分野の諸問題について理論的、実証的に分析できること。
3. 専攻分野に関する研究課題について専門的な知見を有し、課題解決策を提案できること。
4. 専攻分野に関する研究課題について、専門知識を活用して論文又はリサーチペーパーを作成し、その思考方法と研究成果を公表できること。

<博士課程後期課程>.....

東北学院大学大学院は、博士課程後期課程において、所定の履修方法に従って必要となる単位数以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえで提出した博士論文の審査及び最終試験によって、次の学修成果を達成したと認められる者に、「博士」の学位を授与する。

1. 専攻分野の諸問題に関する多角的な視点及び高度な知識を有すること。
2. 専攻分野に関する高度な専門知識及びスキルを有し、専攻分野の諸問題について理論的、実証的に分析できること。
3. 専攻分野に関する研究課題について専門的な知見を有し、高度な課題解決策を提案できること。
4. 専攻分野に関する研究課題について、高度な専門知識を活用して論文を作成し、その思考方法と研究成果を公表できること。

4. 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

<博士課程前期課程>.....

東北学院大学大学院は、博士課程前期課程において、学位授与の方針に定めた学修成果を達成するため、次の方針により、体系的・順次的な教育課程を編成・実施する。

1. 学修成果1及び2を達成することを主たる目的とする科目を置く。
2. 学修成果3を達成することを主たる目的とする科目を置くとともに、必要な研究指導を行う。
3. 学修成果4を達成することを主たる目的として、口頭発表、学位論文又はリサーチペーパーの執筆を通じて研究指導を行い、研究者として必要な能力を養う。

<修士課程>.....

東北学院大学大学院は、修士課程において、学位授与の方針に定めた学修成果を達成するため、次の方針により、体系的・順次的な教育課程を編成・実施する。

1. 学修成果1及び2を達成することを主たる目的とする科目を置く。
2. 学修成果3を達成することを主たる目的とする科目を置くとともに、必要な研究指導を行う。
3. 学修成果4を達成することを主たる目的として、口頭発表、学位論文又はリサーチペーパーの執筆を通じて研究指導を行い、研究者として必要な能力を養う。

<博士課程後期課程>.....

東北学院大学大学院は、博士課程後期課程において、学位授与の方針に定めた学修成果を達成するため、次の方針により、体系的・順次的な教育課程を編成・実施する。

1. 学修成果1及び2を達成することを主たる目的とする科目を置く。
2. 学修成果3を達成することを主たる目的とする科目を置くとともに、必要な研究指導を行う。
3. 学修成果4を達成することを主たる目的として、口頭発表、学位論文の執筆を通じて研究指導を行い、研究者として必要な高度な能力を養う。

5. 入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

<博士課程前期課程>.....

東北学院大学大学院は、次の点を確認することにより、博士課程前期課程への入学者を受け入れる。

1. 本課程の学修に必要な専門分野に関する基礎知識及び明確な研究計画を有していること。
2. 本課程の学修に必要な専門分野に関する専門知識及び研究遂行能力を修得しようとする意欲を有すること。
3. 専門分野に関する諸問題に関して、深く研究したいという姿勢を持っていること。

<修士課程>.....

東北学院大学大学院は、次の点を確認することにより、修士課程への入学者を受け入れる。

1. 本課程の学修に必要な専門分野に関する基礎知識及び明確な研究計画を有していること。
2. 本課程の学修に必要な専門分野に関する専門知識及び研究遂行能力を修得しようとする意欲を有すること。
3. 専門分野に関する諸問題に関して、深く研究したいという姿勢を持っていること。

<博士課程後期課程>.....

東北学院大学大学院は、次の点を確認することにより、博士課程後期課程への入学者を受け入れる。

1. 専門分野に関する明確な研究課題及び研究計画を有していること。
2. 本課程の学修に必要な専門分野に関する高度な専門知識及び研究遂行能力を修得しようとする意欲を有すること。
3. 専門分野に関する研究課題に関して、専門的で学術的価値のある知見を有し、さらに深く研究したいという姿勢を持っていること。